

**平成 28 年度愛媛県計画に関する
事後評価
(医療分)**

**令和 3 年 1 月
愛媛県**

3. 事業の実施状況

平成28年度愛媛県計画に規定した事業について、令和元年度終了時における事業の実施状況を記載。

事業の区分	1 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業（病床の機能分化・連携）	
事業名	28年度【No. 2】 病床機能分化医療スタッフ配置事業	【総事業費】 399,679千円
事業の対象となる区域	全圏域	
事業の実施主体	医療機関、県医師会等	
事業の期間	平成28年4月1日～令和2年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	急速な高齢化が進む中、生活習慣病が増加し疾病構造が変化する一方、救急医療をはじめとする地域課題も重要性を増しており、限られた医療資源の有効活用が求められている。	
	アウトカム指標：退棟患者のうち同一院内の他棟以外に退棟した患者数の割合（病床機能報告制度）（H29:78.5%→H30:78.7%）	
事業の内容（当初計画）	○急性期病院から回復期病院への転院など、機能分化に応じた病院間連携を推進するための医療スタッフの確保・配置 ○郡市医師会が中心となり、地域の実情に応じて医師派遣ニーズがある要支援機関に対して医師派遣に協力する協力医療機関への支援等	
アウトプット指標（当初の目標値）	○地域の連携体制の構築に取り組む地区数（5地区） ○地域医療連携室の強化に取り組む医療機関数（16機関以上） ○協力医療機関から要支援機関に派遣された医師による診療時間（7,607時間以上）	
アウトプット指標（達成値）	○地域の連携体制の構築に取り組む地区数（H30実績：5地区） ○地域医療連携室の強化に取り組む医療機関数（H30実績：2機関） ○協力医療機関から要支援機関に派遣された医師による診療時間（H30実績：8,451時間）	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標 → 確認できた退棟患者のうち同一院内の他棟以外に退棟した患者数の割合（病床機能報告制度） → 確認できた（H29:78.5%→H30:78.7%） （1）事業の有効性 転換可能な病院に対し、高度急性期への病床転換を促進させるため、地域連携により現状の人材を活用しながら、医師偏在を調整することが必要。 （2）事業の効率性 地域医療構想に即した機能分化や連携推進を図るため、潜在的に転換可能な病院に対する医師派遣と並行し、救急医療体制の充実のため、「t-PAホットライン」や「急性冠症候群(ASC)ネットワーク」の体制を取り入れ、実績が上がっている。	
その他		